

ヨウジヤマモトアンドフォルダー

N 2 8

2010. 6. 1

J R 東海 労 東 二 運 分 会

これで行け～ ッてかア

ガッハッハ
ッてかア



みなさん ご存じでしたあ～

私たちの 今の制服の生い立ちを

会社発足に合わせて新制服が出来ました。デザインは、黒を基調とした革命的デザイナーとして欧米で活躍していた世界の山本耀司氏、そう、ヨウジヤマモト ブランドです。特に上着はヨーロッパスタイルでスマート。ネクタイは黄色、ピンク、水色と華やか。だからか、車内では中年女性のお客様から「ステキ～」と大変な人気を博しました。が、しかし乗務員の評価は違い、「仕事がしづらい」という声が多く、特に運転士は座ったままの3時間は窮屈でたまらない。ボタンを外すわけにもいかないし、と悲鳴があがっていました。

実は、あの制服のデザインを決定する時の責任者は、本社厚生担当部長のA氏(当時)でした。当時の組合交渉部がA氏に、ベンツを入れるなどの改善をしてほしいとお願いしたところ。デザイナーとの契約があるから変更はできない、一つ上のサイズに変えるようにと言われ とても残念だったと言っていました。

その後、車発機 使用とになり、第4のポケットが突然、誕生しました。その時の(少し前も)基本は、車発機を使う時はそのポケットから「取り出して」使う、でしたが、そんな使いかたをしている車掌さんは1度も見たことがありませんでした。

とは言っても、デザイナーにお願いしてデザインを変えてもらったからには、何としても使わなければというなかの新型車発機は絶好のチャンスでした。蛇足ですが、フォルダーを上着の「外に出す」コーディネートは、デザイナーからOKが出ているのでしょうか？

他労組の掲示によれば、「格好悪い」という声が多くあるそうです。さらに「邪魔になる」「お客様にぶつかる」「決着はどうする」等々の声もあります。おかしい事、変だと思ふ事は 共に声にしましょう。

車内業務とサービスはスマートにしたいものですね

「これで行け～ ムチ 振りおろす 雲のうえ」 C D 頑 爺